

日中友好新聞

日中友好協会
愛知県連合会
愛知版 第334号
〒464-0821
名古屋市中種区
末盛通4-18
電話052-763-1152
Fax 052-763-1153
http://www.nitty-u-aichi.jp
E-mail: jc77918@amber.plala.or.jp
郵便口座 00890-6-25484

I、はじめに

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は5類となり、やっと沈静化の兆しが見えてきました。しかし本年初め能登半島に大地震が発生し、支援がまだ追いついていません。世界も日本も問題が山積です。ロシアのウクライナ侵略は2年を経過しても終息の兆しが見えず、ガザハマスとイスラエルの戦闘もいまだ解決の道が見えませんが、特にガザへの無差別攻撃は許されません。東アジアでも「台湾有事」をめぐる複雑で危惧すべき問題がみられま

国内では自民党の裏金問題、政治と金の問題、そしてなお不明瞭な「マインバー関連法」健康保険証の廃止などがあります。その一方で岸田内閣は米国防務を深め、米軍と自衛隊との共同作戦を進め、「敵基地攻撃能力」の保有を明記、安保三文書を閣議決定し、軍事費大幅増額をすすめようとしています。2024年度予算では一般会計総額は11.2兆円強と昨年同様1.10兆円を超え、その中で軍事費は米国製の手国への「良くない」印象が増加しています。

日中友好協会愛知県連合会 第44回総会議案



昨年の総会風景

立の中で日本の在り方」と題して、大阪経済大学名誉教授の山本恒人氏の講演を行った。相次ぐ質問で回答時間が不足するほどの講演会になった。(3) 8月12日(金) コロナ禍の影響で4年ぶりの参加となる中国長春の偽満皇宮から、王昊氏による講演が行われた。今まで歴史に埋もれていた長春100部隊内にあった新しい部隊が生体実験を行っていた事実を、留守家族名簿で表れた生存者の証言で明らかにする貴重な講演だった。今年の「あいち平和の日の戦争展」のメインテーマは「名古屋空襲」である。県連は展示コーナーで「重慶大爆撃」をテーマにパネルを含めて展示する。また、昨年に引き続き、偽満皇宮から研究員を招いての講演を予定している。

1、日中不再戦・平和活動
昨年の不再戦平和の活動は、「台湾有事」を口実に軍事費を増やすことを決めた日本政府の動きと連動して多岐に渡った。23年6月10日(土)「米中関係と日本の情勢—台湾有事とも関連して」と題して、ジャーナリスト末浪清司氏の講演会が本山生協文化会館で行われた。現在の日本の「格差と貧困」の増大、物価高の中で、「国民のいのちと暮らし」を守り、「平和な社会」をめざす活動を強めつつ、活動のあり方を工夫し、各支部の持続的な活動・さらなる活性を図ることをお願いしつつ、会員、県民間の交流を強め、新しい会員を迎え入れるよう活動をすすみましょう。

2、組織活動
日中友好協会愛知県連の24年3月現在の現勢は、会員進会員で〇〇名です。この間に〇〇名の方が会員・準会員となり、〇〇名の方が退会しました。

3、青年委員会
全国青年「〇〇懇談会」は不定期に開催され、日中関係についてや青年会員を増やすにはどうしたらよいかなど意見交換を行って来ました。しかし20代から50代会員は仕事や家庭のことで多くの時間が必要なため、協会の方から青年会員の方に働きかけがないと、すぐに協会の活動から遠ざかってしまうのが現状です。若い青年会員や会員でなくても行事に参加してくれた方には、個別に大きな行事を案内するなど、協会の方からの不断の働きかけが重要で、台湾について、を開催しました。

第44回 日中友好協会愛知県連合会総会ご案内
日時：7月21日(日) 14:00~
会場：愛知民主会館・2階会議室
* 地下鉄東山線 新栄町2番出口
議題：①23年度の取り組みと会計報告と承認の件
②24年度の活動方針と予算案決定の件
③規約の一部改定の件
④新年度役員選出の件
◎ 会員・準会員ともに参加できます。
※ 欠席の場合、会員と特別会員と特別会員は委任状をお願いします。
※ 団体会員と準会員には議決権がありません。

こうして中、愛知県連合会としてここ数年新型コロナウイルス感染症の蔓延で十分な活動ができませんでした。その中でもWEBを含めた役員会の定期的開催、県連ニュースの発行、そして中国語教室などの文化活動の持続、中国百科検定、戦争展などの平和運動、そして県連ホームページ、SNSの活用などできる限りの活

4、中国百科検定と学習会の取り組み
中国百科検定など学習会を一体的にとらえ、原則月1回のペースで、会員以外の参加者も増すような運営・方法を考えていくことが大切です。雑誌『研究中国』を利用して中国の知識、情勢など共通認識を広げます。改訂された『中国百科』を受験テキストとしてだけでなく、中国に関心を持つ契機となるように活用することが大切です。

会員増で総会を迎えよう!

議案特集 (1面のつづき)

第13回百科検定を昨年12月3日に実施。第14回7月13日(岐阜会場)に協力します。次回第15回は今年の12月7日に実施の予定です。

7. 中国機関関係および中国人研究者との交流

23年度は諸事情で新役員の中人民共和国駐名古屋総領事館訪問ができませんでした。今年度は速やかにします。

5. 大府飛行場中国人強制連行被害者を支援する会の取り組み

昨年5月に総会を開催しました。今年9月には「追悼と学習のつどい」を開催する予定です。

会の重要な課題である「記念碑建立」はひきつづき、調査・検討と募金の取り組みを強めます。「ニュース」は昨年12月に発行しました。

6. 県連版機関紙とホームページについて

(1) 県連版は、月1回の発行を堅持しています。編集体制が脆弱で人員の補充が必要です。

(2) 現在月2回の全国新聞は、毎回人数が3時間あまりかかって発送。最低4人は必要で、3年前からはすべて郵便局への持ち込みになり、重労働の苦勞しています。

年携りの方々の苦勞に感謝し、さらに幅広い会員の協力をお願いします。

(3) 課題であったホームページは会長が先頭に立ち、更新され西尾常任理事もSNSで発信していただきその成果

があらわれています。

7. 中国機関関係および中国人研究者との交流

23年度は諸事情で新役員の中人民共和国駐名古屋総領事館訪問ができませんでした。今年度は速やかにします。

9. 北京第二外国語大学への短期留学

コロナで4年間留学の取り組みが出来ませんでした。一部の方からは留学の希望と問い合わせが有りますが、留学について相手の大学の受け入れと県連の体制が取れませんが、さまざまな問題があり再開は困難です。

コロナ禍でも、オンライン授業も含めて3つの講座を開講維持してきました。しかし、対中国感情の悪化に伴い、以前は中国人留学生との交流は続けられてきています。

10. 日中文化教室

コロナ禍でも、オンライン授業も含めて3つの講座を開講維持してきました。しかし、対中国感情の悪化に伴い、以前は中国人留学生との交流は続けられてきています。

11. 太極拳委員会のまとめと方針

日中主催の太極拳教室や同好会での受講生を増やし、それぞれが安定的な運営ができることをめざしています。

12. 財政報告

重要で、日中友好協会の運動に対する理解を深め、協会全体の太極拳普及のためにも多くの指導員育成に取り組みます。

24年度の活動収支の予測について

今年は、会の取り組みも再開し、諸企画なども旺盛に行っていくこととなり。しかし、会員の減少が止まらず、元に戻るとは思われず、会員増が見込めるまでにはならないと思われず、そのための、

23年度活動決算の概要

23年度はコロナ禍が少し緩んだ年の決算でした。コロナ終息を受け、活動を再開し、会員の減少を止めるべく臨み、諸活動は少しずつ増えましたが、会員の減少に歯止めはかけられていません。

収入面での特徴

先に述べたとおり、会員の減少はまた止まらず、減少率は低減しておらず、会費収入もまだ減少が続いています。

全体の収支の特徴

先に述べたような特徴は前年と大きく変わらぬ収支構造でした。幾分赤字額が減ったにとどまり、一昨年に続き、収支は赤字でした。会費減の影響をこれまでの未納会費の回収と滞納会員の納入を減らすことで持ち出しを食い止めました。

重要で、日中友好協会の運動に対する理解を深め、協会全体の太極拳普及のためにも多くの指導員育成に取り組みます。

24年度の活動収支の予測について

今年は、会の取り組みも再開し、諸企画なども旺盛に行っていくこととなり。しかし、会員の減少が止まらず、元に戻るとは思われず、会員増が見込めるまでにはならないと思われず、そのための、

23年度活動決算の概要

23年度はコロナ禍が少し緩んだ年の決算でした。コロナ終息を受け、活動を再開し、会員の減少を止めるべく臨み、諸活動は少しずつ増えましたが、会員の減少に歯止めはかけられていません。

収入面での特徴

先に述べたとおり、会員の減少はまた止まらず、減少率は低減しておらず、会費収入もまだ減少が続いています。

全体の収支の特徴

先に述べたような特徴は前年と大きく変わらぬ収支構造でした。幾分赤字額が減ったにとどまり、一昨年に続き、収支は赤字でした。会費減の影響をこれまでの未納会費の回収と滞納会員の納入を減らすことで持ち出しを食い止めました。

経費支出について

収入は昨年より20万円ほど減少しました。

一方、経費支出は前年と比べれば様々な企画、会議等を再開するようになり、今年秋から増加するであろう、切手、はがき、新聞発送費等の大幅値上げ、また、手数料等の増加予測など、避けがたい費用増も予想される費用は昨年同様の額をまた下回っています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

一方、経費支出は前年と比べれば様々な企画、会議等を再開するようになり、今年秋から増加するであろう、切手、はがき、新聞発送費等の大幅値上げ、また、手数料等の増加予測など、避けがたい費用増も予想される費用は昨年同様の額をまた下回っています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。

その結果、収支は赤字となり、赤字額は前年より増加しています。